

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 業務名 | 四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日
または選定通知日 | 令和7年6月20日 |
| 5 公示日 | 令和7年5月26日 |
| 6 特定通知日 | 令和7年7月31日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(公財)日本港湾協会	○	

プロポーザル評価表

1. 件名 四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務
2. 所属事務所 四国地方整備局港湾空港部
3. 技術提案書の特定通知日 令和7年7月31日

業 者 名		技術評価点の内訳			技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 経験及び能力	特定テーマ			
			特定テーマ1	特定テーマ2		
	評価のウェイト	50	170		220	
(公財)日本港湾協会		47	120		167	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 業務名 | 四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 公示日 | 令和7年5月26日 |
| 5 選定通知日 | 令和7年6月20日 |

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
(公財)日本港湾協会	○	

【令和7年度 公募型・簡易公募型競争入札方式、公募型・簡易公募型プロポーザル方式、公募型・簡易公募型総合評価落札方式業者選定資料】

予算区分		港湾	
件名	四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務		
業務概要・数量	<p>本業務は、「南海トラフ地震に対応した四国の広域的な海上輸送の継続計画」及び「緊急確保航路等航路啓開計画」の実効性を高めるため、課題や検討事項を取りまとめるとともに、訓練・検討会等を開催し、計画の更新及び今後の方策等の検討を行うものである。</p> <p>・計画準備等 1式</p> <p>・「南海トラフ地震に対応した四国の広域的な海上輸送の継続計画」の更新 1式</p> <p>・「緊急確保航路等航路啓開計画」の更新等 1式</p> <p>・災害時の対応に関する教材作成 1式 ・会議運営補助 1式</p> <p>・訓練の実施及び課題の取りまとめ 1式 ・成果物 1式</p>		
		業務区分	業務の等級
		建設コンサルタント等	A
技術提案書のヒアリング実施日		入札予定日	履行期間
令和7年7月16日～18日		令和7年8月21日	令和8年2月27日
		発注形態	
		単体設計共同体	
ランク：建設コンサルタント等 A等級			
契約形態：簡易公募型プロポーザル方式			
企業の同種業務実績：以下の①及び②を実施した業務（①、②は別件業務で可） ①災害時における緊急海上輸送又は災害時における航路啓開を検討した業務 ②委員会の運営又は検討会の運営に関する業務			
企業の類似業務実績：以下の①及び②を実施した業務（①、②は別件業務で可） ①港湾における災害時の事業継続計画（BCP）又は防災訓練に関する業務 ②委員会の運営又は検討会の運営に関する業務			
技術者の資格：・技術士（総合技術監理部門（建設）又は建設部門） ・博士（業務に該当する分野） ・APECエンジニア（業務に該当する分野） ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者 ・RCCM（港湾及び空港部門）又は同等の能力を有する者（技術士部門と同様の部門に限る。）。 但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・発注者が上記と同等であると認めた者			
技術者の同種業務実績：企業と同じ 技術者の類似業務実績：企業と同じ			
特定テーマ：本業務において、最近の港湾を取りまく諸情勢を踏まえた訓練計画立案における課題、着眼点及び解決方法について			

[illegible]